

特定非営利活動法人福祉のふくちゃん令和3年度事業報告書  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 事業概要

通所送迎、移送サービス事業及び移動支援事業が、事業収入の約97%を占めました。送迎等事業は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」といいます。）の影響による外出自粛及び事業所休止の影響を受け、大幅な利用減となりました。

安全運転への取り組みとして、送迎職員が安全運転講習及び送迎運転者研修を受講しました。

2 事業の状況

(1) 会員について

(単位：人・団体)

区分	令和3年度末	令和2年度末	増減
正会員	33	33	0
協力会員	65	67	△2
団体会員	8	8	0

(2) シルバーリボン普及事業

令和3年度の販売実績はありませんでした。

(3) 福祉人材養成事業

ア 国家試験学習対策講座

令和3年度の実績はありませんでした。

イ 移動図書館事業

福祉書籍や教養DVDを各施設に貸し出しました。

(4) 福祉人材派遣事業

令和3年度の実績はありませんでした。

(5) 障害者施設等の関連・補完業務事業

次のとおり、中信社会福祉協会関連施設の各種業務を請負い、実施しました。

ア グループホームの日勤、夜勤等支援業務

イ 障害者支援施設の環境整備業務

(6) 通所送迎・移送サービス事業

当事業には、職員3人が従事し、有償ボランティアに協力をいただきました。

ア 車両更新に係る助成申請

送迎車両の老朽化に伴い、次のとおり助成申請をしましたが不採択となりました。

車両名	申請先	結果
日産セレナ（平成21年取得）	公益財産法人日本財団	不採択
日産キャラバン（平成22年取得）	社会福祉法人清水基金	

イ 通所送迎事業

引き続き、「共立学舎」、「チャレンジ松本」及び「あい・アドバンス今井」から送迎業務を請負いました。

ウ 福祉有償運送事業

グループホームから通所事業所への移送の希望があり、対応しました。令和3年度は新型コロナ感染予防による、休業、外出自粛等の影響を受け、利用回数が大幅減となりました。

(単位：人・回)

区分	令和3年度末	令和2年度末	増減
登録利用者数	277	319	△42
延べ利用回数	817	940	△123
登録運転者数	56	59	△3

エ 移動支援事業

買い物、余暇活動等、外出支援サービスを松本市、塩尻市、山形村、朝日村等にお住まいの障がいのある方々にサービスを提供しました。福祉有償運送事業と同様、新型コロナの影響で大幅な利用減となりました。

(単位：人・回)

区分	令和3年度末	令和2年度末	増減
契約者数	112	109	3
延べ利用回数	670	865	△195

(7) その他必要な事業

ア 会報発行

9月に会報を発行しました。会報発送時に、「梓荘」利用者の作品とふくちゃんロゴをデザインした「不織布マスク」を記念品として同封しました。

イ 法人ホームページ

ホームページに情報を掲載しました。

(8) グループホームの業務受託事業、外出余暇支援事業

(5) 障害者施設等の関連・補完業務事業を同様に実施しました。

(9) 福祉関係職員の研修事業、ボランティア教育・組織化事業

令和3年度の実績はありませんでした。

(10) 障がい者の作品・製品の紹介・販売事業

(7) その他必要な事業に内容を記載

(11) 第三者評価事業、入院付添い事業、福祉教育の講師派遣事業、成年後見事業、学校教育との交流事業、福祉イベントの開催事業、障害者の職場開拓・雇用・派遣事業についての実績はありませんでした。

(12) その他の事業

令和3年度の実績はありませんでした。